SURE 静岡大学学術リポジトリ
Shizuoka University REpository

超越論的なコミュニケーション：自己と他者の作用から（研究の成果発表（ジュニア（大学1～3年生），新規発表））

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2021-08-16 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 大石, 由佳, 砂子, 岳彦 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10297/00028300

研究の成果発表（ジュニア（大学 1～3 年生），新規発表）

超越論的なコミュニケーション－自己と他者の作用から－

大石由佳（常葉大学経営学部経営学科），
砂子岳彦（常葉大学経営学部経営学科）

現代社会において，人は社会的なアイデンティティの体系の元に存在する．その枠組みは時に従業員として時に顧客としてその人の振る舞いを決定させるが，そのセルフイメージが必ずしも最適なやりとりを成立させる訳ではない．生の場においてそのつど自我（セルフイメージ）が選ばれる．この生の場を自己と呼ぼう．五感や情動による体験そのものが自己であり，人は発達するにつれ自我を持ち，自我を通して認識するようになる．そこで，人を自己と自我の概念と捉えたとき，特定の自我から離れて対話することを「超越論的コミュニケーション」とする．本報告では，フッサール現象学を参考にしながら自己と自我を明らかにし，その知見を日常生活に反映させるための具体例を提言することが目的である．その結果，自我を超えた対話による体験が可能となる．すなわち，自己と自我の構造理解によって，超越論的なコミュニケーションの日常への応用が拓かれる．